



## 構造・空間デザイン演習 Design

外部講師：伊藤 登(プランニング・ネットワ-ク) + 松井幹雄(大日本コンサルタント) + 二井昭佳(國立館大学)

教員：齋藤 潮(景観論) + 田中由乃(都市・まちづくり)

この科目は、水辺の景観に関する講義と橋梁デザインの講義、ならびに実空間をフィールドとした水辺+橋梁の設計演習を通して、受講生に環境創造の意味を理解してもらうことを意図している。

そのため、デザイン経験が豊富な外部講師を招聘し、景観、まちづくりを専門的とする教員と共同で授業を運営される。前半は、構造物設計や都市空間設計の基礎、講師自ら設計に携わった構造物や都市空間の紹介と設計理念への論及、国内外における様々なデザイン事例とその分析が講義形式で行われ、徐々に、多摩川某所での河川敷-中洲連絡歩道橋の架橋+周辺空間整備という仮想プロジェクト(演習形式)に移行する。

授業の初回には、内部教員の司会のもと、外部講師によるパネルディスカッションが行われ、フロアの受講生も交えながら、公共事業にデザインが必要か否か、必要だとするならなぜなのか、土木構造物・土木空間におけるデザインとは何かなどが討議される。

仮想プロジェクトでは、現地見学を経て受講生全員が架橋+水辺空間整備にかんする企画書を提出し、橋梁と周辺の水辺空間の設計案を摸索する。成果報告会は授業日程の最後の2週に開催され、受講生は模型とパネルによるプレゼンテーションを実施。成績評価は設計案とプレゼンテーションの内容、講師らの質疑への応答をみて、講師・教員全員の採点による。

